

韓国・釜慶高校との交流

松商学園高校は1日から4日までの3泊4日の日程で韓国・釜慶(プギョン)高校の生徒を招き、交流した。両校は2008年に連携交流覚書を交わして以来、ホームステイや、サッカー、野球などのクラブ活動を通じて親しく交流。今回は生徒15人と、引率の教諭ら計24人が来校した。



松商学園吹奏楽部による歓迎の演奏



釜慶高の生徒によるダンス発表



生徒、職員ら24人が来校した

グローバルな教育を 韓国の生徒と友情育む

一行は1日夜、松本へ訪れた。2、3日は松商学園生徒と交流したり、ホストファミリーと観光をしたり。4日朝、帰国の途について。2日の歓迎対面式は、山岳都市としても韓国では4月に起きた旅客船の沈没事故の影響で、修学旅行を中止する高校も多いことに触れ、「自分たちもどうすべきか話し合った。日本のへそと呼ばれ、山岳都市としても韓国では4月に起きた旅客船の沈没事故の影響で、修学旅行を中止する高校も多いことに触れ、「自分たちもどうすべきか話し合った。日本のへそと呼ばれ、山岳都市としても

は、松商学園生徒全員が出席して体育館で開いた。百瀬康雄校長は「クラブ発表など交流を楽しんでほしい」と話した。続けてカン教頭は、有名な松本で、116年の伝統ある松商学園に招いていただき光栄に思う」と応じた。松商学園の皆さんと交流し、日本の文化に触れることは生徒にとって必ずいい経験になる。この後、記念品を交換した。釜慶高の生徒も好きな文字を書く工



理科の実験で染料作りに挑戦



生徒会の役員同士交流した



弓道部の部活体験を楽しむ釜慶高の生徒



ホームステイ先でバーベキューを楽しむ釜慶の生徒たち

釜慶高校生徒会長のベン・ソルウ君は「松商学園は校舎が広く生徒数も多いが、規律正しく学んでいる印象。親切にしてくれてクラブ発表や授業体験も楽しかった。日本の文化、習慣など学んだことを韓国に帰って釜慶のみんなに伝えたい」と話した。両校は今後も交流を続け、夏休みには釜山へホームステイ、11月には硬式野球部が釜慶高校への訪問を予定している。